

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 4 部門第 1 区分
【発行日】 令和 6 年 6 月 3 日(2024.6.3)

【国際公開番号】 WO2023/276303
【出願番号】 特願 2023-531410(P2023-531410)

【国際特許分類】

E 0 5 B 81/76(2014.01)

E 0 5 B 85/14(2014.01)

B 6 0 J 5/00(2006.01)

H 0 1 H 13/00(2006.01)

【F I】

E 0 5 B 81/76

E 0 5 B 85/14

B 6 0 J 5/00 H

H 0 1 H 13/00 C

【手続補正書】

【提出日】 令和 6 年 1 月 25 日(2024.1.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

インナーケースを有する車両用のドアハンドルの内部に設けられる検出装置であって、
前記ドアハンドルの長手方向に沿って延在する長手形状を有し、前記インナーケースに
対して固定的に設置され、前記インナーケースに圧力が加えられた際に変形する基部と、
前記ドアハンドルの長手方向に沿って延在する長手形状を有し、前記基部と対向して設
けられ、長手方向の一端部および他端部の一方または双方が前記基部に接続され、前記基
部の前記変形に伴って前記基部に対して相対的に変位する変位部を有する変位部材と、
前記変位部の前記変位を検出するセンサと
を備え、

前記変位部材は、

前記一端部が前記基部に接続され、前記他端部が前記変位部であり、前記変位部が前記
ドアハンドルの長手方向に前記基部に対して変位する
ことを特徴とする検出装置。

【請求項 2】

前記変位部材は、

前記基部に向かって延在し、前記基部の縁部を保持する複数の脚部を有する
ことを特徴とする請求項 1 に記載の検出装置。

【請求項 3】

前記センサは、

前記変位部の前記ドアハンドルの長手方向への変位に伴って歪みが生じ、当該歪みを
検出する歪みセンサである

ことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の検出装置。

【請求項 4】

前記センサは、

前記基部に固定的に設置される固定部と、前記固定部から前記変位部材に向かって突出

10

20

30

40

50

した軸部とを有し、前記軸部が前記変位部に設けられている係合部に係合していることを特徴とする請求項 3 に記載の検出装置。

【請求項 5】

インナーケースを有する車両用のドアハンドルの内部に設けられる検出装置であって、前記ドアハンドルの長手方向に沿って延在する長手形状を有し、前記インナーケースに対して固定的に設置され、前記インナーケースに圧力が加えられた際に変形する基部と、前記ドアハンドルの長手方向に沿って延在する長手形状を有し、前記基部と対向して設けられ、長手方向の一端部および他端部の一方または双方が前記基部に接続され、前記基部の前記変形に伴って前記基部に対して相対的に変位する変位部を有する変位部材と、前記変位部の前記変位を検出するセンサと
を備え、

10

前記変位部材は、

前記一端部および前記他端部の双方が脚部を介して前記基部に接続され、前記一端部と前記他端部との間の中央部が前記変位部であり、前記基部の変形に伴って前記脚部の車外側が、外側に倒れこむ事で前記変位部が前記基部に近づく方向に変位する検出装置。

【請求項 6】

前記センサは、

前記変位部の前記基部に近づく方向への変位に伴って歪みが生じ、当該歪みを検出する歪みセンサである

ことを特徴とする請求項 5 に記載の検出装置。

20

【請求項 7】

前記センサは、

前記基部に固定的に設置される固定部と、前記固定部から前記変位部材に向かって突出した軸部とを有し、前記軸部が前記変位部に設けられている係合部に係合している

ことを特徴とする請求項 6 に記載の検出装置。

【請求項 8】

車両用のドアハンドルであって、

車外側に設けられるアウターケースと、車内側に設けられるインナーケースとが組み合わされることによって形成されるケースと、

前記ケースの内部に設けられた、請求項 1、2、5 から 7 のいずれか一項に記載の検出装置と

30

を備えることを特徴とするドアハンドル。

【請求項 9】

前記基部の変形に伴って前記脚部の車外側が、外側に倒れこみ、前記変位部材が前記長手方向に伸張して、前記変位部材が平坦になるように車内側に弾性変形することで、前記変位部が前記基部に近づく方向に変位する

請求項 5 に記載の検出装置。

40

50